

# ■ノミバエを調べる\*



このハエは、この間からたびたび見ているのですが、あまりに小さいので、名前はおろか科も分かりませんでした。昨日はこれも採集してきました。小さい小さいハエです。体長は2mmしかありません。「絵解きで調べる昆虫」に載っている検索表で検索してみました。翅が薄いのか翅をピンセットでつまむとピンセットにくっついてしまい、それでピンセットをちょっと振ったら、今度は床のどこかに落ちてし

まい、探すのも大変。でも、一応、科までたどり着きました。ノミバエ科のようです。



Manual of Nearctic Diptera Vol. 2 を見てみると、まさに同じような翅脈が載っていました。その本に載っ

ていた翅脈の名称です。従って、「原色昆虫大図鑑」とは違っているのではないかと思います。変わった翅脈ですね。ついなので、ちょっと顔のアップです。

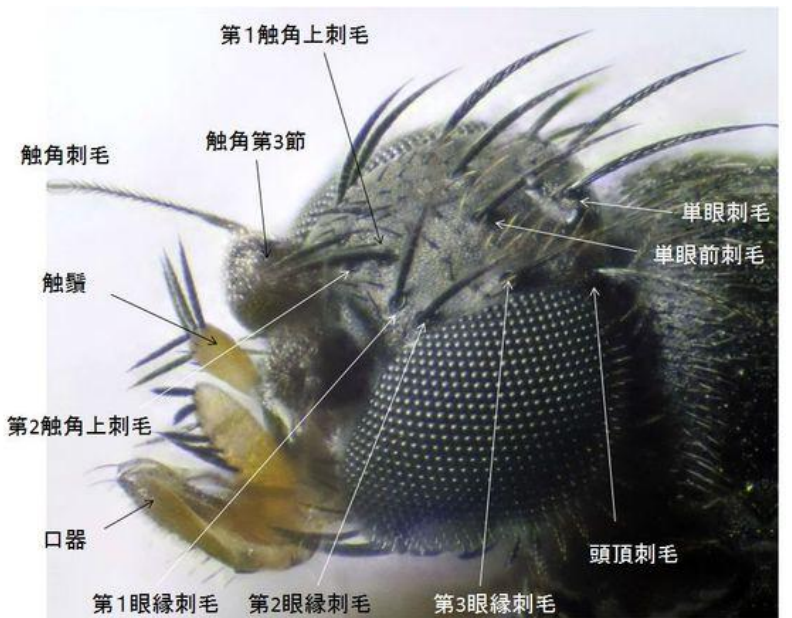


小さいくせにごつい感じのハエですね。(追記 Ziram さんから、「Metopininae 亜科(トゲナミアシノミバエ亜科)ではないかと思えます。おそろひ Megaselia 属あたり」というコメントをいただきました。『触角上棘毛が斜下方に湾曲している』のは確認出来ませんし、全身図では(見え方的に完全な保証までは出来ませんが)見るからに『脚の脛節に(二本棘の特

微的な) 独立剛毛を有しない』と見られるので Metopiniinae 亜科かと思えます(中胸側板が二区画に分かれていればほぼ確定です)。「だそうです。

さらに、「Megaseia 属と判断した理由といたしましては、まず Metopiniinae 亜科に属するハエの半分ほどを占めるのではないかと推測されている、そして後脚脛節の後背部に毳毛列(微細な毛の集まりから成る線を持つ)ように見られるの二点です。」とのこと。また、「Megaseia 属は未記載種だらけの属する種類の多い属で、現状としては約1000程度の記載がありますが(未記載種を含めると)その十倍前後いるのではないかとされていますので、種まで分類するのは困難かと思えます。」とのこと。

このコメントで紹介していただいた、金子ほか、衛生動物 12, 238 (1961)に載っている検索表を見ると、確かに Metopiniinae 亜科に属するようです。さらに、後脚脛節の背部に毳毛列のようなものもかすかに見えます。こんな小さなノミバエでもいろいろいることが分かってくるものですね。本当にどうも有難うございました(追記・ついでに、金子ほか(1961)の図に従って、頭部の各部の名称を付けてみました。



ごついごついとしか表現できなかった頭部の各部に名前が付けられるようになってちよつと嬉しいですね(追記・Niranさんに教えていただき、もう少し詳しく調べてみました。この種はトゲナシアシノミバエ亜科メガセリア属アフィオカエタ亜属に属するかもしれません)(2015.1.14記)